

文学部 人文学科 人文学(歴史学)、および、国際コース・人文学(歴史学) カリキュラム・マップ

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期				
<共通>	D. (他者を尊重する公平な姿勢) 先行研究と自らの学説を批判的に討論し、自らの意見をより客観的視点から組み立て、他者の意見を尊重する。市民性のある公平な姿勢で論文を作成することができる。 C-2-1. (知識・理解の深化と統合) 本コース6つのそれぞれの専門分野の内容に関する深い理解と、学問固有の思考方法、研究方法を獲得し、知識を有機的に統合し、論文を作成することができる。 C-2-2. (独創性) 新たな視点から問題提起を行い、それを解決するための方法を提示しながら、論文を作成することができる。 B-3. (歴史学コース固有の課題) 先行研究を批判的に読む中で自らの問題関心を鋭敏にし、史・資料を解釈し史跡を調査することにより、自らの視角から、ある特定の地域と時代の社会像を復元できる。							卒業論文				
<日本史学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		日本史学演習I～IV(日本古代の文献資料について歴史学的に検討し、報告を行う授業)、日本史学演習V～VIII(日本中世の文献資料について歴史学的に検討し、報告を行う授業)、日本史学演習IX～XII(日本近世の文献資料について歴史学的に検討し、報告を行う授業)、日本史学演習XIII～X(日本近代の文献資料について歴史学的に検討し、報告を行う授業)、日本史学演習XVII～XX(学外講師による、文献資料について歴史学的に検討し、報告を行う授業)、日本史学演習I～IV(文献資料・出土文学資料等を用いた古文書学・資料論的素養を身につける授業) 日本史学講義I～IV(日本古代を中心とした講義)、日本史学講義V～VIII(日本中世を中心とした講義)、日本史学講義IX～XII(日本近世を中心とした講義)、日本史学講義XIII～X(日本近代を中心とした講義)、日本史学講義XVII～XX(学外講師による集中講義)			<共通>の漢文、ラテン語、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、アラビア語の中から3単位選択				
<東洋史学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		東洋史学演習I～VIII(中国を中心としたアジア史の史料・研究文献講義)、東洋史学演習IX～XII(学外講師による中国を中心としたアジア史の史料・研究文献講義) 東洋史学講義I～VIII(中国を中心としたアジア史の講義)、東洋史学講義IX～XII(学外講師による中国を中心としたアジア史の講義)			<共通>の古典語・外国語の中から、英語1単位、中国語1単位を含みながら3単位選択				
<朝鮮史学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		朝鮮史学演習I～IV(朝鮮史研究法の基礎を学びつつ、日本語・外国語で書かれた研究文献の読解力を身につける授業) 朝鮮史学演習V～VIII(主として朝鮮近代史の史料読解・調査分析を学生が実践する演習)、朝鮮史学演習IX～XII(主として朝鮮近代史の史料読解・調査分析を学生が実践する演習)、朝鮮歴史文化論演習I～VI(朝鮮の社会・文化上の諸テーマに関する演習) 朝鮮史学講義I～IV(主として朝鮮近代史に関する講義)、朝鮮史学講義V～VIII(主として朝鮮近代史に関する講義)、朝鮮歴史文化論講義I～VI(朝鮮の社会・文化上の諸テーマに関する講義)			<共通>の英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から朝鮮語1単位以上を含みながら3単位選択				
<考古学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		考古学演習I～IV(東アジアの考古学的資料について検討し、報告を行う卒業論文作成に向けた授業)、考古学演習V～VIII(日本の遺跡出土の発掘資料について観察・検討し、報告を行う授業)、考古学演習IX～XII(日本列島の先史・古代を中心とした講義)、考古学演習I～IV(遺跡の調査・出土遺物の整理・報告書作成に至るまでの一連の方法・技術を身につける授業) 考古学講義I～IV(東アジアの先史・古代を中心とした講義)、考古学講義V～VIII(日本列島の先史・古代を中心とした講義)、考古学講義IX～X I(学内非常勤講師による講義)、考古学講義XII～XVI(学外講師による集中講義)			<共通>の漢文、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から3単位選択				
<西洋史学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		ヨーロッパ史学演習I～IV(主として中世、文献資料について読解し、成果を報告)、ヨーロッパ史学演習V～VIII(主として近代)、ヨーロッパ史学演習IX～XII(主として現代)、ヨーロッパ史学演習XIII～XVI(主として英米史) ヨーロッパ史学講義I～IV(主として近代)、ヨーロッパ史学講義V～VIII(主として中世)、ヨーロッパ史学講義IX～XII(主として近代)			<共通>のギリシア語、ラテン語、英語、ドイツ語、フランス語の中から3単位選択				
<イスラム文学>	C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		C-1-1. (文献分析力) 本コース6つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究方法) 本コース6つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、必要な史料や文献を収集できる。 C-1-3. (表現力) 学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。		イスラム文学演習I～IV(イスラム史研究法の基礎を学びつつ、日本語・外国語で書かれた研究文献の読解力を身につける授業)、イスラム文学演習V～VIII(ペルシア語文献資料を読解し、史料操作の方法を学ぶ授業)、イスラム文学演習IX～XII(アラビア語文献資料を読解し、史料操作の方法を学ぶ授業)、イスラム文学演習XIII～XVI(トルコ語文献資料を読解し、史料操作の方法を学ぶ授業) イスラム文学講義I～IV(主として近世・近代オスマン帝国史・トルコ史に関する講義)、イスラム文学講義V～VIII(主として初期イスラム時代に関する講義)、イスラム文学講義IX～XII(主としてイラン史に関する講義)、イスラム文学講義XIII～XVI(主としてアラビア語文法に関する講義)			<共通>の漢文、ギリシア語、ラテン語、英語、ドイツ語、フランス語、アラビア語の中から3単位選択				
<歴史学コース共通>	B-3. (歴史学コース固有の課題) 先行研究を批判的に読む中で自らの問題関心を鋭敏にし、史・資料を解釈し史跡を調査することにより、自らの視角から、ある特定の地域と時代の社会像を復元できる。				史学概論							
<国際コース共通>	B-4. (国際コース固有の課題) 英語により日本の人文学を学び、外国語による思考力を鍛え、日本社会や国際社会の諸問題を表現することができる。				国際コースの学生はInternational Humanities I～X(英語による日本学の授業)各2単位を8単位修得する。この8単位のうち4単位までは人文学課題探求演習I～IIIに代えて修得することができる。また、国際コースの学生は専門80単位のうち40単位以上をF科目(外国語により実施される科目)またはF/J科目(授業の一部で外国語を用いて実施される科目)で修得する(F科目、F/J科目であるかどうかは各授業のシラバスに表示される)。卒業論文(10単位)は外国語で作成された場合、F/J科目とする。また、外国語文献資料や外国語による研究成果を幅広く参照して作成された卒業論文の単位は、所定の申請書を提出した上でF/J科目に認定されることある。 International Humanities II～II: Introduction to Japanese History, III～IV: Introduction to Japanese Literature and Language, V～VI: Introduction to Japanese Art and Visual Culture, VII～VIII: Introduction to Japanese Religions and Philosophy, IX～X: Analyzing International Scholarship on Japan 人文学課題探求演習I～II(長期の留学、海外での活動を単位として認める授業)							
<共通>	B-2. (専門分野の知識と理解) 本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究方法を身につけ、それを説明できる。				博物館に関する科目、図書館に関する科目、地域福祉の比較社会学、コミュニティの構造、情報機器操作入門、西洋古典学講義I～IV、ジャーナリズム論I～II、現代史入門I～II							
	B-1. (人文学の広範な知識と理解) 人文学全般の多様な専門分野の基礎知識を身につけ、人文学固有の思考や方法を説明できる。		人文学基礎I	人文学基礎II	人文学 I～IV							
	C-1-4. (外国語運用能力) 外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。				International Humanities II～II: Introduction to Japanese History, III～IV: Introduction to Japanese Literature and Language, V～VI: Introduction to Japanese Art and Visual Culture, VII～VIII: Introduction to Japanese Religions and Philosophy, IX～X: Analyzing International Scholarship on Japan <古典語>ギリシア語 I～II、ラテン語 I～II、サンスクリット I～II、漢文 I～II <外国語>英語 I～IV、ドイツ語初歩 I～II、フランス語初歩 I～II、中国語初歩 I～II、朝鮮語初歩 I～II、ドイツ語 I～IV、フランス語 I～IV、中国語 I～IV、朝鮮語 I～IV、アラビア語 I～II							
					言語文化科目(Intensive English、学術英語、専門英語、初修外国語) 国際コースの学生は言語文化科目は17単位が必修(国際コース以外の学生は12単位)、17単位のうち第一外国語(英語)は12単位、第二外国語は5単位が必修。							
	A-1. (主体的な学び) 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。				文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、総合科目							
A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。				サイバーセキュリティ基礎論	高年次基幹教育科目							
				課題協学科目、基幹教育セミナー、健康スポーツ科								